

JA全農えひめ情報

みくろ〜と

2023

2 - Mar.
Feb. 3





▲只今、収穫作業中



▲最盛期は赤い実が次々と顔を出す



▲脇川町の山あいと整然と並ぶいちごハウス



▲つやのある鮮やかな赤い色が特徴の「紅ほっぺ」。おいしいですよ

いちごの収穫

(大洲市)

残雪を気にかけて歩く寒い朝。踏み入れたハウスは凍てつく外気から一転、緊張の糸がほぐれるあたたかさで浅野誠司さんの笑顔がありました。

J A 愛媛野菜生産者組織協議会いちご部会長として活躍されている浅野さんは、開口一番、いちごづくりは楽しい！と言います。毎日同じことのように聞いて日々違いがあり、トラブルも含めドキドキ・ワクワク、面白さとやりがいを感じています。怖いのは施設倒壊の危険を感じる台風や雪の天災です。数年前には積雪70cmを乗り切りました。

目下、健康な苗づくりに余念がありません。特に、枯死につながる炭疽病は感染力が強く、葉に付着し水滴で拡散するので雨除け栽培、菌のつく野草の除草など、基本的に忠実な作業を行っています。10月、小さな小さな花芽がふわっと出そろい、安堵にも似たうれしさが込み上げます。最盛期は早朝の収穫から夜中の選別まで続きますが、贅沢なしんどさだと言われます。

J A 愛媛たいき・いちご部会は生産者が増加傾向にあり、冷凍いちごなどの販路開拓を願っています。「趣味は家族」と言えるよう、いちごのようなかわいいお嫁さんを募集中の浅野さん。大粒ながら形が整わず出荷されない初採れいちご「頂果」の濃い甘みが味わえるのはお嫁さんの特典です！18aの施設でご両親と6月まで、いちご「紅ほっぺ」の収穫は続きます。

めぐり〜ど

2023年2 - 3月号

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



いよかんはこわもてのおじ様に似ています。パツと見、ずっしり重くて、ごっつくて、とっつきにくい印象です。覚悟して皮に爪を立てれば、さわやかな香りが広がり、意外にむきやすく、果汁はたっぷり。甘みと酸味のバランス絶妙、無心で食べるおいしさで、一気に魅了されてしまいます。みかんも人も、見かけで判断できません！

●表紙：いよかん
はら ふみ（イラストレーター）

※「めぐり〜ど」は、「愛媛農業（Agriculture）」を「リード（Lead）する」という意味と「心一つにする（Agreed）」という意味を込めています。

農の風景Vol.232

いちごの収穫

2

〈特集〉

肥料と農薬を取り巻く情勢と今後の取組み

7

トピックス

8

ふるさと ESSAY VOL.300

途上国支援から島の保健室へ その3

野澤 美香さん

10

TOPIC NEWS

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉 レタス

JA全農えひめ

ホームページ

<https://www.zennoh.or.jp/eh/>



■お取り寄せ・JA全農えひめ直販ショップ
<https://www.ja-town.com/shop/c/c7201/>
※愛媛の旬の農産物と加工品をお届けします！

■JA全農えひめ「えひめの食」企画
<https://www.zennoh.or.jp/eh/food/>
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆株式会社 いよかん飲料
<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆株式会社 アイパックス
<http://ai-pax.jp/>

◆株式会社 フレッシュフルーツ
<http://fresh-ranran.jp/>

◆株式会社 ひめライス
<http://www.himerice.jp/>

◆株式会社 エネルギー
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

◆株式会社 物流
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

肥料と農薬を取り巻く情勢と今後の取組み

肥料を取り巻く情勢

近年、ロシアによるウクライナ侵攻も原因の一つとされる原油価格の高騰や、円安の影響により、様々なものが値上げとなっており、生産資材価格の上昇は、農業経営面で非常に厳しくなっています。特に、肥料価格は、昨年6月と12月の二度の値上げにより高騰しており、農家経営や農産物の生産に大きな影響が出ています。肥料を取り巻く背景と、情勢について確認していきましょう。

日本では、化成肥料の原料のほぼ全量を、海外からの輸入に頼っており、国産資源はほとんどありません。主な輸入原料の三つ「尿

素」、「りん安」、「塩化加里」についてどこで産出されているのか確認していきたいと思えます（図1）。

①尿素・N（チッソ成分）の主原料

国産原料4%、輸入原料96%（マレーシア47%、中国37%、他）

②りん安・P（リン成分）の主原料

国産原料0%、輸入原料100%（中国90%、アメリカ10%）

③塩化加里・K（カリ成分）の主原料

国産原料0%、輸入原料100%（カナダ59%、ロシア16%、ベラルーシ10%、他）

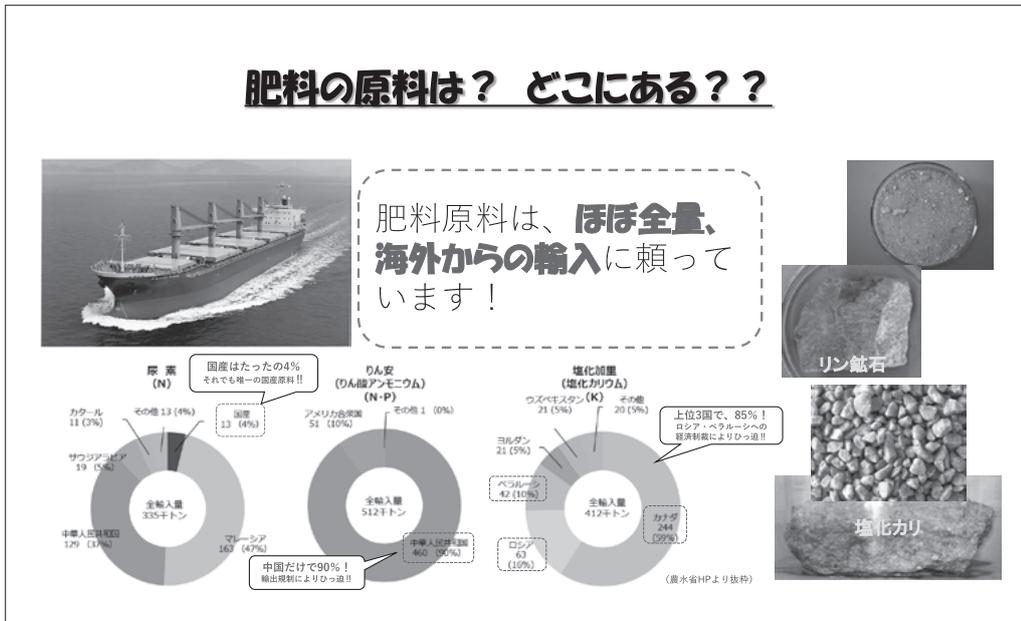
原料の国際価格そのものが高騰していることに加え、円安に伴う輸入コストの上昇、原

油価格上昇に伴う海上輸送運賃の上昇など、日本に化成肥料原料が届くまでにかかる費用も同時に上がっています。更に、日本国内でも製造に伴う加工費や、包装資材費、輸送費等も上がっているため、国産原料をほとんど持っていない日本にとっては、二重、三重の影響を受けています。

また、世界の肥料使用量（令和元年時点）から見た、日本の使用量（割合）は、0.5%と非常に少なく、中国、インド、アメリカといった大消費国と比べると、交渉力はどうしても弱くなっています（図2）。

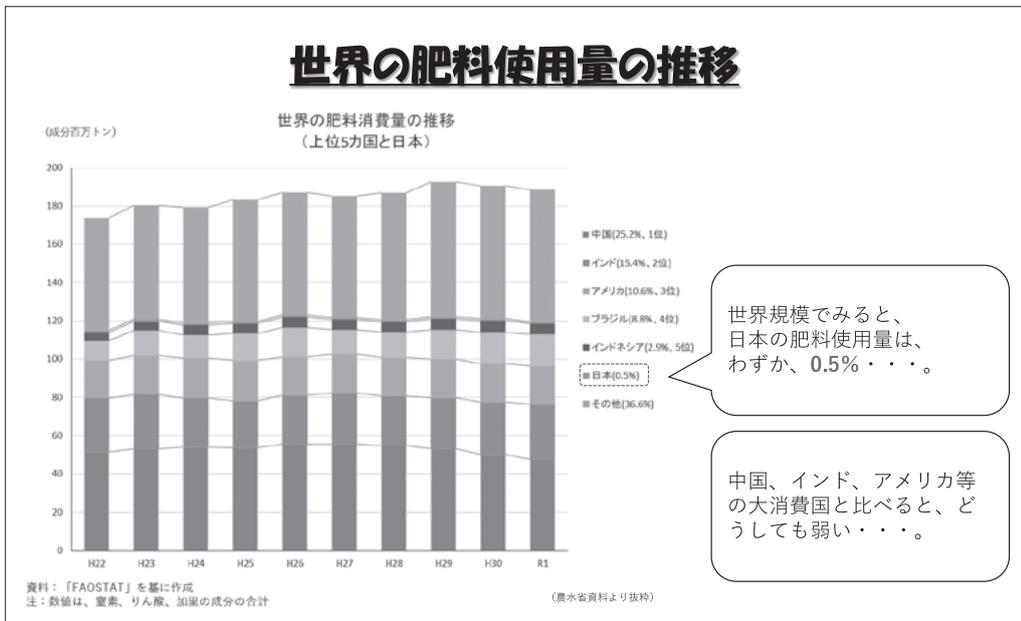
今後、世界人口は増加傾向であり、2050年には約93億人に達すると見込まれ

肥料の原料は？ どこにある??



(図1)

世界の肥料使用量の推移



(図2)

ています。人口が増えると、食糧の増産が必要となり、今後ますます世界規模で肥料の消費量が増加していくことが予想されます。世界的には食糧増産・肥料消費量が増加してい

く一方で、日本は人口減少、農業従事者の減少、農業生産の縮小から、肥料の使用量(割合)は更に減少し、それに伴い、交渉力も更に弱くなっていくことが懸念されています。

**統一・集中銘柄と
適正施肥でコスト低減**

しかし、肥料が無くては安定した農産物生産が難しくなります。そのため、JAGグループが一体となり、原料の確保と肥料製品の安定供給により一層努めていく必要があります。

今後の取組みとしては、従来の原料産出国との信頼関係構築・強化を継続して図るとともに、新たな原料産出国(モロッコ、ベトナム等)からの原料調達を行っています。また、全国集中銘柄肥料や、県下統一配合肥料等によるコスト低減に取り組んでいます。そして、土壌診断に基づく適正施肥の実施や、未利用資源(家畜糞堆肥等)の活用についても、県内圃場での試験・調査を通じて実用性の確認を進め、化成肥料減肥の可能性と、コスト削減の可能性について模索していきます。

また、課題となってきたマイクログラスチックについて、被覆肥料のメリット(肥



(図3)

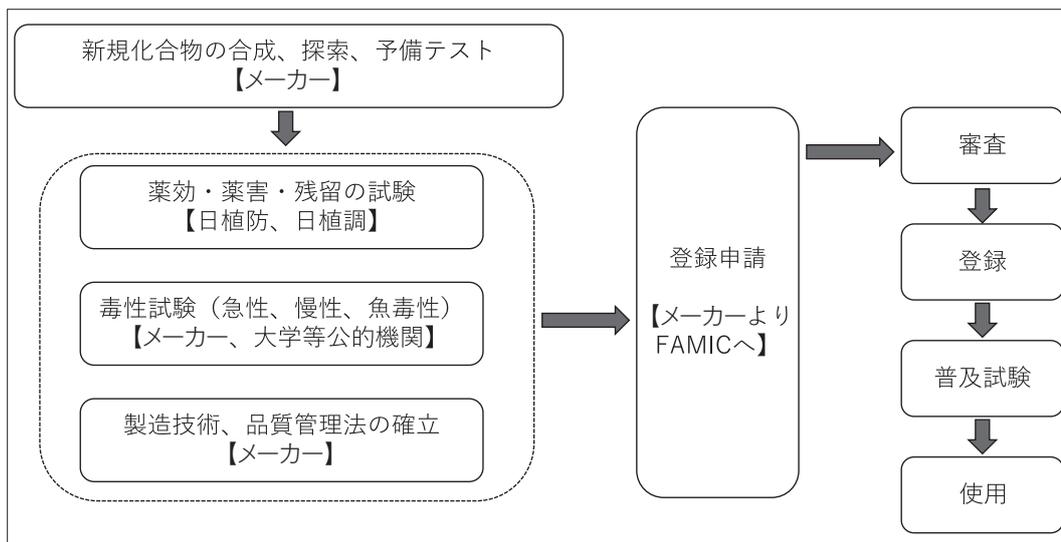
料成分の溶出制御による施肥回数、低減、環境負荷軽減」とデメリット（プラスチック殻流出の可能性があること）を踏まえ、被覆肥料にはプラスチックが含まれていることの周知や、圃場外への流出防止対策の徹底呼びかけ（図3）、代替施肥技術の実証試験による実用性の確認と、有効な技術の普及・拡大に取り組んでいきます。

農薬の登録制度と再評価制度について

高騰と併せ、メーカー側としては、新たなコスト上昇要因となっています。

農薬についても、肥料同様に、製造・輸送コスト増に伴い、価格が上昇しています。農薬には、農薬効果自体を発現する『原体』と、その効果を最大限発揮させるために様々な補助剤が添加され、製品として販売されていますが、原体・補助剤ともに、原材料価格が上昇しています。そして、日本の農薬市場規模は農業生産の縮小によって、非常に小さくなっており、世界的には人口増加を背景とした食糧増産のため農薬使用量は増加傾向ですが、日本の農薬市場規模は、世界の中でもかなり小さいため、価格交渉力が弱まっています。また、日本には農薬の「登録制度」があり、国が定めた基準を満たすものだけが「農薬」として認められます。この「登録」を取得・維持するためのコストがかかっており、2021年10月から「再評価制度」が導入されたことにより、原料・製造・輸送コストの

農薬の安全性について理解するうえで、前述した「登録制度」、「再評価制度」の内容を把握しておくことが重要です。昭和46年に「農薬取締法」が改正され、人に対する毒性が強い農薬の販売禁止や、制限を定めました。これ以来、農薬の開発は人畜に対する安全性や、環境に配慮した開発が重視されてきました。「登録制度」は、国が定めた基準を満たすものだけが「登録」を許され、製造、輸入及び販売できるという仕組みです（図4）。また、農薬の使用者としても、病害虫や雑草の影響による減収や品質低下を防ぐために、定められたルールを遵守しながら適切に農薬を使用してきました。そして、2018年の農薬取締法改正に伴う「再評価制度」の導入については、既に登録を取得している全ての農薬について、最新の科学的知見に基づく安全性や品質に関するデータを、改めて国に提出し、再評価を受け



(図4)

ることになっており、2021年10月より、優先度の高い有効成分から順に国が再評価（概ね15年ごと）を実施しています。

農薬の「再評価制度」により、人や環境への

の安全性が向上されることが期待される一方、再評価のために必要な試験等により、農薬メーカーとしては追加でコストがかかることとなり、結果的に、農薬の価格上昇に繋がってしまうこともあります。また、安全性には問題ないものの、古い農薬や、流通量の少ない農薬については、追加が必要となるコストが採算に見合わないとメーカーが判断した場合、登録内容の変更や削除、その農薬自体の取り扱いを廃止する可能性もあり、使用者にとっては農薬の種類や使用時期、使用回数のご縮小というデメリットが発生することになります（図5）。

低コスト農薬と直送大型規格の普及

こうした情勢の中、農産物の生産コスト低減は、今後ますます求められてきます。そこで、全農では『ジェネリック農薬（特許切れ

農薬の「再評価制度」の要点まとめ

概要	①2018年施行の「改正農薬取締法」により導入決定。2021年10月からスタートしている。 ②最新の知見に基づき安全性を評価する。全有効成分が対象で、概ね15年ごとに実施される。
目的	①農薬の安全性向上 ②国際的な評価基準に合わせる
その他	①農薬価格が上昇する可能性がある。 ②農薬の登録内容の変更、登録削除の可能性がある。

(図5)

農薬』をはじめとした低コスト農薬の開発を継続し、開発コストの低いジェネリック農薬の普及拡大を図ることで、既存農薬価格の上昇を抑制していきます（図6）。また、『担い手直送大型規格』の普及拡大（図7）を更に推進強化し、コスト低減を図っていきます。担い手直送大型規格とは、通常規格の農薬よ

りも大きな荷姿の商品であり、包装の大型化・簡素化や、農薬メーカーの工場から担い手農家および生産法人の方々へ直送することにより、製造・物流・保管コストを削減することで、供給価格を低減している商品です。愛媛県では、水稻育苗箱処理剤の「サンエース箱粒剤40kg（4ha相当）」や、水稻除草剤の「ラオウ1キロ粒剤40kg（4ha相当）」などを中心として、水稻場面を中心にラインアップを充実させています。これまでに有利購買を実現するために培ってきた『予約制度』を活用し、さらに精度を高め、農薬メーカーへ早期に受注意思を示すことで、計画生産を促し、最大限まで製造・流通に伴うコスト削減を實施させた結果、通常規格の農薬よりも2〜3割程度、価格を抑えることが実現しています。愛媛県内では、令和4年度の水稲場面で、3、700ha分の出荷実績となっており、生産コスト低減に貢献しています。また、担い手直送規格ではありませんが、柑橘場面でも大型規格の農薬（スプリンクラー用を含む）の普

及により、コスト低減に寄与しています。また、農薬を取り巻く国内外の様々な情勢等についても、今まで以上に積極的に情報提供に努め、県内JAの指導・購買部署の方々と一緒にになって、病害虫等の発生状況や農産物の

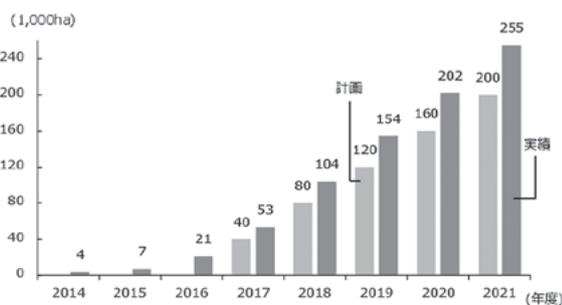
ジェネリック農薬の開発



生産コスト低減のため、安価なジェネリック（特許切れ）農薬の開発・普及に取り組んでいます。1995年度には国内初のジェネリック農薬としてペンコゼブ剤を発売、2005年度には第2弾としてジェイエース剤を発売しました。また、2018年4月には三菱商事（株）との合併会社「ZMクロッププロテクション株式会社」を設立。海外での農薬の原体の調達を強化し、ジェネリック農薬の開発につなげる考えです。

(図6)

担い手直送規格の取り扱い実績の推移（全国）と主な取り扱い銘柄



担い手直送規格の取扱いは、全国的にも増加傾向で、愛媛県内でも、水稻場面において、面積換算で延べ3,700ha分の実績があります。



栽培実態に合わせた農薬選択および効果実証試験を実施するなど、高品質な農産物の安定生産のために尽力しながら、今後も更なる生産コスト削減に努めていきます。

(図7)



「いい予感があたりますように」と配布

湯島天神で合格祈願 「愛媛いよかん」1,800個配布

●がんばれ受験生！「愛媛いよかん」＝いい予感

JA全農えひめ果実課は、愛媛県が全国生産量の約9割を占める伊予柑をPRしようと、1月8日、東京都文京区の湯島天神の境内

で、合格祈願のお祓いを受けた「愛媛いよかん」を参拝者1,800人に無料配布しました。

この取り組みは、「がんばれ受験生！『愛媛いよかん』＝いい予感」をコンセプトに、合格の縁起物として毎年実施しており、今回で38回目。受験シーズンの恒例行事になっており、合格祈願で参拝する受験生や家族に合格の縁起物として喜ばれています。

今年は、マスクを着用し、参拝客と距離を取るなど新型コロナウイルスの感染対策を取りながら実施しました。境内に「合格まで風邪をひかずに頑張ろう。愛媛いよかん＝いい予感」の天幕を掲げ、SPレディが、お祓いを受けた伊予柑とメッセージの入った袋を前に、参拝される受験生やその家族に「いい予感が当たりますように」「縁起のよい伊予柑で

す」と配布しました。

本年産の玉太りはほぼ平年並みからやや大きく、糖度は平年以上に高くなっており、美味しい伊予柑に仕上がっています。「愛媛いよかん＝いい予感」、「色よし、味よし、香りよし」3拍子揃った伊予柑をキャッチフレーズに、伊予柑の購入・消費拡大を呼びかけています。



愛媛いよかんポスター



受験生へのメッセージも添えています

ふるさと ESSAY

Vol.300



途上国支援から 島の保健室へ その3

★不思議なご縁が重なって

2019年、看護職を求める地域おこし協力隊に応募するなどして、移住先を探し始めました。ある日大阪で開催された「愛媛県移住フェア」に出向いたところ、お目当ての興居島（松山市）はその日は不参加でしたが、ブースをひとまわりして最後に話を聞いたのが宇和島市でした。

後日、私の希望を聞いた宇和島市の移住担当職員からメール連絡が来ました。ひとつは戸島診療所の看護師、もうひとつが人口800人あまりの九島で開所することが決まっていた「島の保健室」の保健師の求人でした。とんとん拍子に話が進み、同年末には「島の保健室」への就職が内定しました。移住フェアで宇和島市の話を聞かなければ、そして島の保健室の募集時期でなければ私は今ここにいないと考えたと、縁というものの不思議さを感じました。

★これが私のやりたかったこと

九島は、2016年4月に四国本土「宇和島市」との間に九島大橋が完成すると同時に小学校は閉校となり、診療所も閉鎖されました。その後、勤務先である社会福祉法人正和会は、九島地区「我が事・丸ごと」地域づくり推進事業・地域強化推進事業（宇和島市委託）を受け、週に一回島民の有志ボランティアによるお弁当作りと見守り配食「ふるさとキッチン九島」、「島おこし隊」や見守りグループ「コスモス」の立ち上げ、島民の集いの場創り「島おこし基地」や小学校の音楽室をそのまま生かしたレストラン開店「島の思い出ピアノ」など、宇和島市が地域力を向上させ、地域共生社会を創ろうとする市を挙げての取り組みの一環で、島の保健室がその拠点になっている、そんな事業に現在携わっています。私は保健室に常駐し、各集落のサロンで健康体操や脳トレの指導、健康教

野澤 美香

MIKA NOZAWA

■プロフィール■

1959年12月6日、岐阜県生まれ、宇和島市九島在住。
岐阜県立船津高等学校、名古屋大学医学部保健学科卒業。
助産師、保健師、看護師、救急救命士の資格を持つ。
途上国への様々な医療支援活動を経て、退職までは愛知県名古屋市にある産婦人科病院の助産管理師長として長年勤務。
令和2年1月より宇和島市に移住し、社会福祉法人正和会 地域共生事業部「島の保健室」所属。地域共生事業、九島島民の健康維持活動に従事している。
趣味は、映画鑑賞、写真撮影。
休日は、海を見にドライブすることが多い。
座右の銘は、決して諦めない Never give up.
思いは叶う Dream comes true.
人生に無駄なことは何一つない
Nothing is wasted in life.



▲見守り配食をしているところ

室や健康相談を実施、英語教室の開催、又、週に一度ボランティアの人たちが旧小学校の調理室で作ったお弁当を持って、見守りを兼ねて配食をしています。私の担当は特に医療依存度の高い人が主で、時間をかけて丁寧に見廻っています。「いつもと違う」その気づきがとても大切ですので、訪問してじっくり話を聞きながら必要時医療や介護に繋がっていきます。男性は集いの場に参加されない現状の中「小高島夕焼けサロンT H E 男塾」を立ち上げ

ました。毎週金曜日に島の保健室に集っていたら、体を動かしたりお喋りをしたりして楽しんでもらっています。又、漁師町の九島には、いつもの場所にいつもの顔ぶれで何となく集まり、海を見ながらまったりする、たまり場文化^①があります。そういう所に立ち寄ってみたり、移動販売が来ると買い物に出てくる人たちに話しかけたります。赤ちゃんが生まれれば母子の様子を見に行ったりもします。



▲旧診療所を改修した「島の保健室」前で

今では色々な所で色々な人から声をかけられ、島で困っている人、様子がおかしい人、体調が芳しくない人などの情報を教えてくれるようになりました。昔からご近所との繋がりがとても強い地域です。質素に暮らしながらも本当によく笑うし、一緒にいるところでも気持ちが悪くなくて何となく安心できる、九島はそんな島です。

★将来の事は考えて考えない

家族は岐阜在住ですので現在一人暮らしです。一人で食べるご飯が無性に寂しい時は正直あります。現在加齢進行中（笑）、考えすぎると前向きな思考は生まれてこないの、自分の今後の事は敢えて深く考えないようにしています。只、近い将来、新生児から高齢者、世代やジェンダーを超えて皆が集える陽だまりのような所があったら…と漠然と考えてはいます。これが実現するか否かは別としても、又新たに何かが起こる気？はしていません。きっとこれからも私の周りにはミラクルが起こります。そのミラクルがみんなを幸せにしますように、と願いながら。 Welcome to Kushima. 美しい夕日と島の人たちの温かい笑顔が待っています。

令和4年度愛媛県総合畜産共進会「肉牛・肉豚の部」「交雑種・乳用種の部」 農林水産大臣賞に堀内博さんと伊予スワインガーデン

大洲市のJAえひめアイパックス(株)本社工場で、12月3日、令和

4年度愛媛県総合畜産共進会「肉牛・肉豚の部」「交雑種・乳用種の部」の審査・表彰式が行われました。共進会は、県畜産協会が主

催。農林水産大臣賞は肉牛の部で優等賞首席の堀内博さん(JAひがしうわ)、肉豚の部で優等賞首席の伊予スワインガーデン(JA西日本くみあい飼料(株))が選ばれ



大臣賞を受賞した堀内博さん(左)と伊予スワインガーデン平田大三場長

ました。

また、農林水産省畜産局長賞は肉牛の部で優等賞次席の関平畜産(有)(JAひがしうわ)が選ばれました。

肉牛の部(黒毛和種)は35頭、交雑種・乳用種の部は11頭が出品。肉牛の部では体型が良く、脂肪付着も良好で、肉質4等級以上が100%。生産者の高い技術がわかる共進会となりました。



肉牛セリの様子

大臣賞受賞の堀内さんは、「昨

年に引き続き、息子と共に受賞できて喜ばしい。畜産振興の励みになる」と語りました。

肉豚の部では、全体的に体型が良く、肉質面では良好な仕上がりが、脂肪の質・色も良く、等級上以上の割合が82・5%でした。

大臣賞を受賞した伊予スワインガーデンの平田大三場長は、「当社の10周年という記念すべき年に、このような名誉ある賞を頂けて嬉しい。従業員のモチベーションにもなる。地域の生産基盤の活性化に繋がれば」と笑顔を見せました。

授賞式の後には、購買者24社が参加してJA全農ミートフーズ(株)主催の肉牛のセリを実施。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、会場への入室を購買者のみに限定し、生産者はセリの様子を別室においてリモート

配信で視聴しました。

1kg単価は堀内さんの出品牛が、4,730円(購買者11株篠崎畜産精肉直売店)。黒毛和種の平均単価は2,865円と高値で取引されました。

その他の受賞者は次の皆さん(敬称略・カッコ内はJA名)。

- 【肉牛の部】◆優等賞▽3席Ⅱ池田一成(えひめ南)▽4席Ⅱ小池智喜(おちいまばり)▽5席Ⅱ谷口貴(えひめ南)◆1等賞▽首席Ⅱ堀内誠(ひがしうわ)▽次席Ⅱ畜産センター(愛媛たいき)▽3席Ⅱ西野雅詞(松山市)▽4席Ⅱ山岡造(愛媛たいき)▽5席Ⅱ高橋節雄(周桑)
- 【肉豚の部】◆優等賞次席Ⅱ(株)多田ファーム(愛媛たいき)
- 【交雑種・乳用種の部】◆優等賞Ⅱ堀内誠(ひがしうわ)

令和4年度「愛媛県くり品評会」表彰式

農林水産大臣賞の林敏彦さん、笹岡庄蔵さんらを表彰

愛媛県くり研究同志会（三ツ井守恵会長、会員数1、615人）とJA全農えひめは、12月7日JA愛媛で令和4年度「愛媛県くり品評会表彰式」を開き、農林水産大臣賞の立木部門の林敏彦さん（JAひがしうわ）、果実部門の笹岡庄蔵さん（JAひがしうわ）をはじめ受賞者を表彰しました。

立木部門で農林水産大臣賞を受



賞した林さんの園地は、元々棚田でテラス状の園地に銀寄、筑波、石鎚など4品種が植栽されており、樹齢45年を超えるどっしりとした迫力のある樹が栽培されている様子は圧巻で、これまで受け継がれてきた歴史を感じる素晴らしい園地です。栽培管理面では、年3回の肥培管理と年3回の防除を実践され、こうした管理の積み重ねにより、樹勢は良好で、葉の色つやが良く、樹勢のバラつきが少ないなど、高く評価されました。果実部門で大臣賞を受賞した笹岡さん出品の「紫峰」は、果実の大きさ、果皮の光沢、果実の揃いが素晴らしく、まさに愛媛県を代表する最高級品である果実として評価されました。

※入賞者は12月号11ページのトピックニュースで紹介しています。

GODIVA X 全農 コラボレーションプロジェクト

「愛媛県産紅まどんな®ジュレシヨコラ」が数量限定販売中!

JA全農は、本年創立50周年を迎え、日本上陸50周年を迎えたゴディバジャパン株式会社（以下ゴディバ）との共同プログラム「GODIVA X 全農 コラボレーションプロジェクト」を令和4年3月に発足しました。

コラボ商品として、「愛媛県産紅まどんな®ジュレシヨコラ」が令和4年11月9日より全国のゴディバ限定ショップで数量限定販売



売を開始するにあたり、関岡光昭県本部長が、愛媛県庁に八十島一幸参与を表敬訪問しました。関岡光昭県本部長は、「愛媛県産青果物のブランド力を上げていきたい。今後も、商品開発をすすめて、多くの消費者に手に取っていただきたい」とカゴいっぱいのにっこぽんエール商品を八十島参与に手渡しました。

「愛媛県産紅まどんな®ジュレシヨコラ」は、上品な甘みとやわらかな酸味が広がる愛媛県産紅まどんな果汁を使用したジュレをベルギー産のカカオ分58%のダークチョコレートでコーティングした商品。ぜひお試しください!



令和4年産夏秋野菜出荷反省会

愛媛県野菜の生産・消費拡大を！

J A 愛媛野菜生産者組織協議会とJ A 全農えひめ野菜花卉課は11月24日、J A 愛媛クリスタルホールと瑞穂で、令和4年産夏秋野菜出荷反省会と令和5年産の生産対策会議を開きました。対象品目は、きゅうり・とまと・ミニとまと・ピーマン・なす・アスパラガス・枝豆・メロンの8品目。

会議には、品目部会長・J A・市場・行政関係者ら47人が出席。

令和4年産夏秋野菜の出荷量は8,349トンで計画比99%、前年比99%。販売面では目標単価の達成に向けた企画販売や値決め販売を実施しました。また、愛媛産野菜のPRに向け量販店でのえひめフェア（売り場づくり）やSNS・マスメディアを活用した情報発信を実施しました。生産面では作付拡大のための「生産振興要領」を中心とした生産振興対策、生産技術の向上に向けた栽培講習会・品目担当者会等を実施しました。次年度も新型コロナウイルス感染症状況を踏まえながら、生産振興対策や愛媛野菜の消費拡大とファンづくりに取り組むこととしました。

社会福祉協議会贈呈式

県内15の児童福祉施設に、もち米とジュースを提供

J A 全農えひめは、愛媛県社会福祉協議会を通じて県内15の児童福祉施設に、「ひめライス」のもち米580kgと「POMアスタノカラダみかんジュース」「POM愛媛ひめぼん」「POM愛媛ぼんかん」のジュース110ケースを贈りました。

松山市のJ A 愛媛で12月1日に行った贈呈式では、全農えひめの得能祐治副本部長が同協議会の杉野洋介常務理事に目録を手渡し、同協議会から全農えひめに感謝状が贈られました。

この取り組みは、社会貢献活動の一環として、県内児童福祉施設の子どもたちが明るいお正月を迎えられるよう、令和5年から毎年実施しており、今回で39回目です。



得能副本部長（左）と杉野常務（右）

成約実績目標を達成

J A 石碑・お仏壇大展示会

J A 全農えひめと県内J A は、12月9日から11日までの3日間、(株)イフイ本社（石手寺前本社）及び県内8営業店舗の特設展示場・(株)乾佛具店本社（松山本店）及び松山椿店で、J A 組合員限定の「J A 石碑・お仏壇大展示会」を開催しました。

会場には、セット墓から小物、仏壇まで大奉仕品を数多く展示しました。良質で厳選された愛媛の銘石「大島石」など各種石碑を豊富に取り揃え、墓石の完成時の形がイメージできるように展示。期間中多くの方が来場し、

目標を上回る1億円以上の成約実績をあげました。



2022 JA愛媛農機ビッグフェア

JA農機の総合展示会開催

県内JAとJA全農えひめ農機課は、12月9日・10日の2日間、松山市のアイテムえひめで、取扱メーカー等の協力を得て、県内統一の農機総合展示会「2022 JA愛媛農機ビッグフェア」を開催しました。

フェアは、農機の計画的・効率的な適正導入の促進と安全使用の啓発、効率生産に役立つ作業体系の提案や省力機械の普及促進、新機種・新製品の説明・研修などを目的に毎年開催して



会場では多数の農機等を展示

おり、31回目の開催。新型コロナウイルス感染症予防策として、消毒液の設置や感染対策チェックリスト等を使用し、万全の対策に取り組みしました。

フェアには大型農機から小物資材までメーカー20社が参加。大規模効率生産に対応できる高性能機械・省力機械、野菜作関連機械、新製品や小物特価品等を多数展示しました。

JA全農えひめコーナーでは、営農情報提供、米の食味分析や土壌分析等を実施。特設ステージイベントでは、入札式オークションや抽選方式の台数限定特別価格

販売を行い、会場を盛り上げました。

期間中は、県内JAから516人が来場し、最新農機のデモンストレーションなどを通じて性能や特徴などを確認しました。

県内JAの農機事業一体化を拡大

JA松山市が参加！

JA全農えひめと、県内4JA（JAうま、JAえひめ未来、JAおちいまばり、JA今治立花）が形成する「愛媛県JA農機協同事業体」に令和5年1月よりJA松山市が新たに参加しました。

JA松山市の参加にあたり、1月10日にJA愛媛ビルで出発式を行い、関岡光昭県本部長が訓示を述べました。

この事業体は、JA農機事業のサービス力向上や購買力の強化、業務の標準化を目的に設立。県内5JAとJA全農えひめが一体となって農機協同事業を組成し、効率的な体制の構築を目指し

ます。また、全農によるマネジメント強化や収支改善などに取り組みます。

今後も他の県内JAの参加を呼びかけ、さらなる事業拡大を目指します。



◎第45回えひめみかん祭り果実・ほ場コンクール

農林水産大臣賞に吉井栄信さん（果実）と 浜田長昌さん（ほ場）

愛媛産柑橘の品質向上と果樹農家の生産意欲の高揚に向けて行われた「第45回えひめみかん祭り」果実・ほ場コンクールの結果が、1月21日、「えひめみかん祭り」会場で発表されました。農林水産大臣賞（優秀賞）には果実が吉井栄信さん（おちいまばり）の「甘平」、ほ場では浜田長昌さん（えひめ中央）の「愛媛果試第28号（施設）」の園地が選ばれました。

コンクール入賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内は品種名・J A名）。表彰式は、3月20日開催予定の愛媛県果樹同志会大会で行われます。

【果実コンクール】
▽優等賞Ⅱ久重儀久（南柑20号・にしようわ）、滝本則男（はれひめ・おちいまばり）、安永健二（宮内伊予柑・えひめ中央）、石田英久（せとか・同）、稲田壘（河内晩柑・えひめ南）、丸井幸造（愛媛果試第28号・愛媛たいき）、村上美佐子（不知火・東予園芸）、山下達重（今津ポンカン・えひめ南）▽

優良賞Ⅱ門屋吉輝（はるみ・えひめ中央）、玉井力（宮内伊予柑・同）、池下秀雄（南柑20号・同）、毛利武司（吉田ポンカン・ひがしうわ）、村上智洋（甘平・えひめ中央）、都築太一（不知火・にしようわ）、青木聡（せとか・えひめ中央）、田所京子（レモン・同）、重野匡宏（宮内伊予柑・同）、古茂田修（愛媛果試第28号・同）、玉井真吾（南柑20号・にしようわ）、澤近瑛平（今津ポンカン・えひめ南）、長尾伍大（甘平・えひめ中央）、和田泰（不知火・同）、大野健二（せとか・同）、田中浩二（清見・にしようわ）、小倉雅裕（愛媛果試第28号・えひめ中央）、井上清悟（南柑20号・にしようわ）、高市裕史（宮内伊予柑・えひめ中央）、二宮新治（今津ポンカン・えひめ南）

【ほ場コンクール】
▽優等賞Ⅱ前田和也（河内晩柑・えひめ南）、梶野一善（せとか・えひめ中央）▽優良賞Ⅱ荻山民之（甘平・同）、岡本浩志（宮川早生、田口早生・にしようわ）

◎第45回えひめみかん祭り

県内各地の柑橘30種類以上を一堂に集め 愛媛産柑橘の魅力をもPR!

愛媛県果樹同志会、愛媛県、J A全農えひめなどは、1月21日、22日の2日間、松山市のいよてつ高島屋8階特設会場で、「第45回えひめみかん祭り」を開催しました。愛媛県産柑橘のPR・消費拡大と果樹農業の振興を図ろうと毎年開催しているイベント。20日に開催した「果実コンクール」入賞果実や話題の新品種・珍しい品種、「ほ場コンクール」優秀園地のパネル等の展示、柑橘の販売等を行



様々な柑橘を販売

いました。

また、今回は「みかん電車ミュージアム」絵画コンクールの表彰式を行い、上位入賞者4名を表彰しました。コンクールの最優秀賞および優秀賞の受賞者は次のとおり（敬称略）。

▽最優秀賞Ⅱ渡邊湊太
▽優秀賞Ⅱ河端愛、加藤紬希、山田さくら



（左から）河端さん、渡邊さん、山田さん、加藤さん

令和4年度 甘平選果目合わせ会

品質の向上と品格の統一を！

J A全農えひめは、1月6日、八幡浜市のJ Aにしようで「甘平選果目合わせ会」を開催しました。ブランド確立に向けて消費者・販売先の期待に応える品質の向上と品格の統一に向けて、出荷J A販売・生産担当部署及び選果担当者を対象に呼びかけました。

目合わせ会は、平成24年産から実施しており、今年で11回目の開催。J Aの販売・選果担当者として愛媛県から約40人が出席しました。目合わせ会では、J A全農えひめの担当者が、出荷要領と選果基準を具体的に説明し、基準を順守して品格・価格に見合った商品を提供するよう確認・徹底しました。

「甘平」は愛媛県が平成19年に品種登録した、シャキツとした食感と濃厚な甘さが魅力の品種。令和4年産は、面積が334ha(前年比101%)、生産量は1,786トン(前年比73%)を見込んでい

ます(12月時点・J A関係)。

J A全農えひめ果実課は「今年の甘平は糖度が高く、おいしく仕上がっている。人気のある甘平を、食べたことのない人にも試してもらいたい」とPRしました。



目合わせ会の様子

【お詫びと訂正】

12月号12ページ下「令和4年度愛媛県総合畜産共進会「肉用種種牛の部」」の記事に誤りがありました。お詫びして訂正文を掲載いたします。

令和4年度愛媛県総合畜産共進会「肉用種種牛の部」
農林水産大臣賞に角藤幸男さん！

令和4年度愛媛県総合畜産共進会の第84回家畜改良共進会・肉用種種牛の部が、11月8日、西予市野村町畜産総合振興センターで開催され、農林水産大臣賞に若雌第3区優等賞首席の角藤幸男さん(J Aひがしうわ)の出品牛「いよひめ」が選ばれました。

また、農林水産省畜産局長賞は経産牛優等賞主席の角藤幸男さん(J Aひがしうわ)の出品牛「ふくはくほう」、中国四国農政局長賞は若雌第2区優等賞主席の池田一成さん(J Aえひめ南)の出品牛「えいこ10」が受賞しました。

共進会は、家畜改良と畜産の振興を図るため、(公社)愛媛県畜産協会が毎年開催。今回は、若雌18頭、経産牛9頭が出品されました。

その他の受賞者は次の皆さん(敬称略・カッコ内はJ A名)。
【若雌第1区】▽優等賞首席Ⅱ高月千賀(ひがしうわ)▽一等賞Ⅱ井関秀夫(ひがしうわ)、池田一

成(えひめ南)、【若雌第2区】▽優等賞次席Ⅱ合同会社ジェイ・ツー(ひがしうわ)▽一等賞Ⅱ平畜産有限公司(ひがしうわ)、井関克也(ひがしうわ)、渡部潤市(松山市)

【若雌第3区】▽優等賞次席Ⅱ井上明宏(ひがしうわ)▽一等賞Ⅱ福山保(愛媛たいき)、山家順子(愛媛たいき)、平田依之(ひがしうわ)、
【経産牛】優等賞次席Ⅱ平井正人(ひがしうわ)▽優等賞3席Ⅱ池田一成(えひめ南)▽一等賞ⅡJ A愛媛たいき畜産センター(愛媛たいき)、井上明宏(ひがしうわ)、高橋節雄(周桑)、二宮康寿(愛媛たいき)、鈴木伸茂(ひがしうわ)
共進会を前に、鹿児島全共の報告会が行われ、全国和牛登録協会登録課の松宮課長が、鹿児島全共に出場した牛について、「どの牛も非常に素晴らしかったです。野村の市場に出る牛は良い牛だと言われるよう牛づくりに努めていきたい」と講評しました。

農の風景を読んで。お正月の門松や生け花に欠かせない若松があんな風に畑で栽培されているとは知りませんでした。いい写真、いい勉強をさせていただきました。ありがとうございます。

(四国中央市・PN：セレナさん)

私も取材をして、初めて若松がどのように生産されているのかを知りました。広報のお仕事をしていると、たくさんの方が学べるので楽しく勉強させてもらっています。

特集を読んで。日頃より産直市ではだかばう麦茶パックを購入しています。今後も新しい商品がでたら利用してみます。

(四国中央市：植田雅子さん)

私自身もはだかばう麦茶パックを愛用しています。3月発売予定の「はだかばのまろやか黒酢」とても楽しみです！いろいろな料理に使えるようなので、アレンジ料理に挑戦しようと思っています。

特集を読んで。いも炊きには伊予美人。お中元には、えひめ100みかん・いよかん混合。日常にあたり前にあるから知らない人がいる？ これからも愛して広めていきたいです。

(今治市・PN：やまならさん)

たくさんの方に愛媛の農畜産物を知っていただきたいので、広報活動を気合い入れて頑張ります！Instagramもはじめましたので、ぜひ投稿を見てください。

ESSAYを読んで。私自身も3回の出産を経験しましたが、全てが同じではなく違うそれぞれの初めての経験をしました。だからこそ、人との出会いや絆もより一層強く感じます。これからも家族・友人・人との出会いを大切に過ごしていきたいです。

(宇和島市・PN：なぎささん)

わたしも海外留学で、人との出会いは大切だと改めて感じました。留学してから、5年経ちましたがホストファミリーや友人とやり取りをしています。これからも人との出会いを大切にしたいですね。

ESSAYを読んで。僕は地域医療について関心があります。医療に限らず、人との出会いは大切で欠かせないものだと思います。僕も将来、社会人となりますが自分のできることを見つけ、一生懸命生きていきたいです。

(四国中央市・PN：創造力さん)

わたしは社会人1年目が終わろうとしています。広報担当なので、たくさんのお会いがあり、助けてもらっています。

皆様に感謝しながら私にできることをしっかりやり遂げようと思います。

NOW NOW COOKINGを読んで。早速今夜のおかずの一品に加えました。低カロリーで食物繊維とビタミンCたっぷりです。簡単にでき、孫たちも大喜び。ドレッシングやマヨネーズをかけても大変美味しかったです。最高の酒のお供にもいいですね。

(西条市：高橋千代美さん)

年末年始でおいしいものをたくさん食べすぎたので、ダイエットしよう！と思っていたのですが、どのレシピもおいしくて、結局食べ過ぎてしまいました。

この度、JA全農えひめの公式Instagramを開設しました！農畜産物、イベント、取り組みなどについて皆様に情報をお届けします♪フォロー&いいねをお願いします！

★閲覧方法★

Instagramアプリ内で「zennoh_ehime」を検索、または下記のQRコードを読み込んでください。

※Instagramの利用は、アプリのダウンロードとアカウント作成が必要になります



編集後記

すでに2月となりましたが、皆様あけましておめでとうございます。年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか。私は家族全員が集まって、美味しいものを食べ、寝て、ゲームして。とっても満足な日々を過ごしておりました。あっという間に2022年が終わり、私の社会人1年目が終わりを迎えるようとしています。まだまだ他の人の助けがないと、何もできませんが私なりに2023年も頑張ります！

(彩恵)

今月のクイズ

第45回「えひめみかん祭り」のテーマは？

「今だから、〇〇〇〇と愛媛みかん」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

2023年3月15日(当日消印有効)

発表

「あぐり〜ど」4-5月号で発表します。

当選者発表

12月号の答えは「はだかばう麦茶」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

秋山美恵子さん(四国中央市)
合田 聖子さん(四国中央市)
寺尾 智美さん(四国中央市)
越智 修三さん(今治市)
藤原 沙織さん(今治市)
阿部 徳子さん(今治市)
松浦 千春さん(松山市)
亀田 均さん(伊予市)
井上 幸恵さん(大洲市)
松本 浩二さん(宇和島市)

今月の素材
レタス



ふんわりと巻きがゆるくて
軽いものを選びましょう

▶(右)つまみレタス、(右下)ベーコンとレタスのペパロンチーノ、
(左)しらすとレタスの卵とじ



指導/愛媛調理製菓専門学校 山崎 翔 先生

しらすとレタスの卵とじ

〈材料・4人分〉	※1人あたり約61kcal
レタス	1/4玉
しらす	100g
卵	2個
コンソメの素	適量
塩・コショウ	適量
片栗粉	適量
青ねぎ	8本
サラダ油	適量

〈作り方〉

- ①レタスを一口大にちぎり、卵は溶きほぐして水溶性片栗粉を合わせておく。
- ②フライパンに油をひき、レタスとしらすを軽く炒め、塩・コショウで味を調え、卵でとじる。
- ③コンソメの素でコンソメスープ200ccを作り、水溶性片栗粉でとろみをつける。
- ④②を器に盛り、③をかけ、小口切りの青ねぎを散らし完成。

ベーコンとレタスのペパロンチーノ

〈材料・4人分〉	※1人あたり約433kcal
パスタ	80g×4
レタス	1/2玉
ベーコン(ブロック)	100g
ミニトマト	8個
にんにく	4片
鷹の爪	適量
オリーブオイル	適量
塩・コショウ	適量
ブラックペッパー	適量
糸切り唐辛子	適量

〈作り方〉

- ①レタスは食べやすいサイズにちぎり、ベーコンは棒状、ミニトマトは半分に切る。
- ②パスタを1%の塩が入ったお湯で、茹で時間の1分短く茹でる。
- ③みじん切りのにんにく、鷹の爪、オリーブオイルを鍋に入れ、香りが出るまで弱火にかける。
- ④②にベーコンを加え炒め、トマトを加え、②の茹で汁200ccを入れソースを作る。
- ⑤②のパスタを④に合わせ、レタスを加えさっと和え、塩・コショウで味を調える。
- ⑥器に盛り、唐辛子とブラックペッパーを散らす。

つまみレタス

〈材料・4人分〉	※1人あたり約43kcal
レタス	1/2玉
塩昆布	5g
醤油	小さじ1
ごま油	大さじ1
ごま	適量
にんにく(チューブ)	適量
韓国海苔	4枚

〈作り方〉

- ①レタスを食べやすいサイズにちぎり、水洗いし、水気を切る。
- ②①をボウルに入れ、塩昆布・醤油・ごま油・ごま・にんにくを加え、さっくりと混ぜる。
- ③器に盛り、ちぎった韓国海苔を散らし、完成。



春限定

えひめ逸品柑橘

愛媛

せとか

サイダー

2月20日発売!



季節に合うおいしさをお届け!
また出会いたくなる「えひめの逸品柑橘」

とろけるような濃厚な
甘さから「柑橘のホトロ」と
呼ばれる、香り・色・味わい、
全てが濃厚なせとかのサイダーを
お届けします。





株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 0120-591-516 FAX: 089-923-1522

<https://www.ehime-inryo.co.jp>
(通販専用) <https://www.pom-j.com>

きれいな肌は、
きれいな服より
恋を实らせると思う。

ビタミンCを摂取しよう!

愛を伝えるものって
バラの花以外にない
と思ってました。

オレンジも“愛のシンボル”

みかんの
季節到来とともに
受験と恋の季節が
やってくる。

ドキドキがとまらない!

家族とこたつと
みかん。
心地よいぬくもり。

みかんが人をつなぐ。

カラダに「愛」を。
ココロに「愛」を。

愛媛のみかん

愛のオレンジロード

オレンジは“愛のシンボル”。“オレンジデー”までの記念日に贈り合って、大切な人との絆を深めませんか。

11/3 12/3

みかんの日
恋するシーズンの到来
(旬の柑橘) 温州みかん、紅まどな、POM 愛媛みかんストレート100

1/14

いい予感
恋愛成就のいいきざし
(旬の柑橘) 伊予柑、ボンカン

2/14

バレンタインデー
愛を届けよう
(旬の柑橘) 伊予柑、ボンカン、はるみ、甘平

3/14

ホワイトデー
愛に応えよう
(旬の柑橘) デコボン、せとみ

4/14

オレンジデー
愛を深めよう
(旬の柑橘) 清見タンゴール、カラマンダリン

4.14 Orange day
ふたりでおしなご
Official Site

詳しい内容はホームページをチェック!

愛のオレンジロード [検索](#)

JA全農えひめ

VOC FREE

VOC(揮発性有機化合物)成分フリーのインキを使用して印刷しました。

UD FONT



「えひめの食」Instagram

Follow Me!

ehimenosyoku



あぐり〜どはWEBでも読めます

<https://www.zennoh.or.jp/eh/about/information/>